

| | | | | |
|--------------------------|--|----------------|--|---|
| 授業科目名 | 保育内容「健康」指導法 | | 担当教員名 | 安井 嘉佑 / 三上 聡子 |
| 科目区分 | 教職・保育に関する科目 | 施行規則に定める科目区分 等 | 領域及び保育内容の指導法に関する科目-保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む）健康 / 保育内容演習 | |
| 必修-選択/単位数 | 必修 / 1単位（15時間） | | 授業方法/担当形態 | 演習 / オムニバス |
| 開講学年/学期 | 2年 後期（4期） / 年間開講数 1講座 | | 特記事項 | ※実務経験のある教員等による授業 ジュニアスポーツクラブ指導者としての実務実績を活かして、現場での指導経験を生かした授業を行う。<安井> 幼稚園副総園長、幼稚園教諭として長年にわたる実務経験を活かし、幼児教育の現場での実例を多く取り上げて授業を行っている。<三上> ※「保育内容演習」の指導内容を含む |
| 授業の概要及び全体目標 | 幼稚園教育要領の領域「健康」のねらいと内容及び内容の取扱いについて理解し、健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養うために必要な知識・技術を身に付ける。乳幼児期の健康に関わる生活習慣や心身の発育発達、運動発達の特徴について理解を深め、適切な指導方法を身に付ける。 | | | |
| 到達目標 | <p>(1)幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「健康」のねらい及び内容を理解する。</p> <p>①幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、領域「健康」のねらい及び内容を理解している。</p> <p>②当該領域のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解している。</p> <p>③幼稚園教育における評価の考え方を理解している。</p> <p>④領域「健康」において幼児が経験し身に付けていく内容の関連性や小学校の教科等とのつながりを理解している。</p> <p>(2)保育内容の指導方法と保育の構想：幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。</p> <p>①幼児の認識・思考・動き等を視野に入れた保育の構想の重要性を理解している。</p> <p>②領域「健康」の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育の構想に活用することができる。</p> <p>③指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。</p> <p>④模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。</p> <p>⑤領域「健康」の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。</p> | | | |
| テキスト | 使用しない | | | |
| 参考書・参考資料等 | 「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」（株式会社チャイルド本社）資料としてのプリント配付あり。 | | | |
| 成績評価の方法 | 授業への取り組み・討論への貢献度(20%)、指導計画の立案・発表・提出物(40%)、講義内容に関する理解度・到達度チェック(筆記形式)(40%) | | | |
| 授業外（事前・事後）学習の方法、オフィスアワー等 | | | | |
| 授業計画 | 授業の内容 | | | 到達目標番号 |
| 第1回 | 保育における「健康」（担当：安井） 幼稚園教育の基本と領域「健康」のねらい及び内容の理解、乳児期の発育発達と領域「健康」をめぐる現代的課題 健康で安全な生活のための指導・援助 | | | (1)-①,(1)-②,(2)-①,(2)-⑤ |
| 第2回 | 乳児期の発育発達と基本的な生活習慣の形成（担当：三上） 基本的な生活習慣（食事、排泄、睡眠、衣服の着脱、清潔）の形成を支える環境構成と援助 領域「健康」の特徴及び幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法 | | | (1)-①,(1)-②,(1)-③,(1)-④,(2)-①,(2)-② |
| 第3回 | 健康な心と体を育む保育の実践、多様な動きの経験を促す援助（担当：安井） 幼児における多様な動きの経験の意義、幼児の動機付けや意欲を配慮した言葉掛けや環境構成、健康な心と体を育む活動の実践例 発達特性や性格に応じた援助の在り方 | | | (1)-①,(1)-②,(2)-①,(2)-③,(2)-⑤ |
| 第4回 | 健康な心と体を育む保育の実践、多様な動きの経験を促す援助（担当：安井） 幼児の運動遊びや生活の中での動きの経験を促す環境構成、具体的な保育場面を想定した指導 一計画・立案一 | | | (2)-①,(2)-③,(2)-⑤ |
| 第5回 | 健康な心と体を育む保育の実践、多様な動きの経験を促す援助（担当：安井） 幼児の運動遊びを中心とした具体的な保育場面を想定した指導 一模擬保育・振り返り（保育の評価と改善）一 | | | (2)-④ |
| 第6回 | 健康な心と体を育む保育の実践、多様な動きの経験を促す援助（担当：安井） 混合保育での運動遊びや生活の中での動きの経験を促す環境構成、具体的な保育場面を想定した指導 一計画・立案一 | | | (2)-①,(2)-③,(2)-⑤ |
| 第7回 | 健康な心と体を育む保育の実践、多様な動きの経験を促す援助（担当：安井） 混合保育での運動遊びを中心とした具体的な保育場面を想定した指導 一模擬保育・振り返り（保育の評価と改善）一 | | | (2)-④ |
| 第8回 | 領域「健康」における心身の発達の特徴を踏まえた環境構成と援助（担当：三上） 領域「健康」におけるインクルーシブ教育の構築と確立、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と小学校教科とのつながり、幼稚園教育における評価 | | | (1)-①,(1)-②,(1)-③,(1)-④,(2)-② |